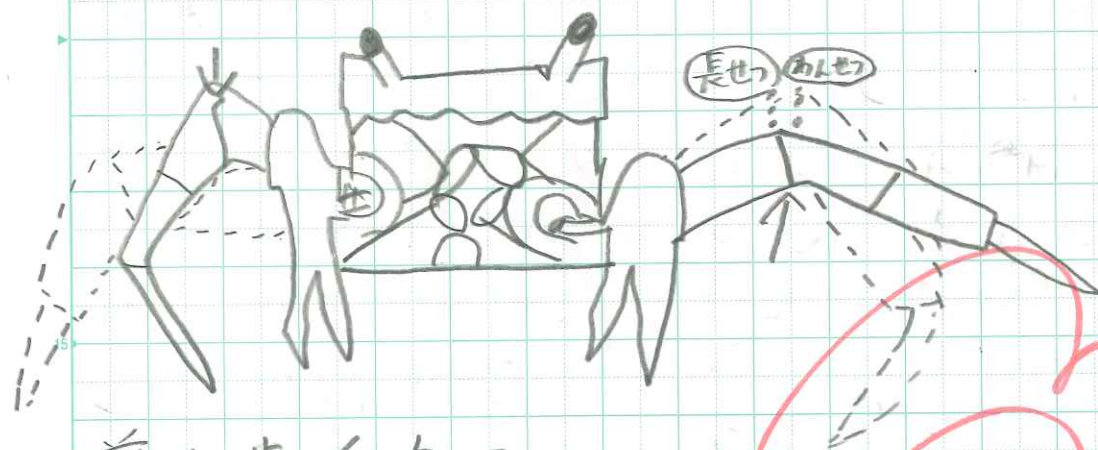


④ カニの歩き方をしらべよう。

■ 横へ歩くカニ

多くのカニは、この歩き方です。つけねのかんせつ(ていせつ)はあまり動かさず、主に矢じるしかんせつ(長せつとわんせつの間)をまげます。このかんせつは、人間のひざのように一方こうへしかまがりません。すると自ぜんに横へすすむことになります。



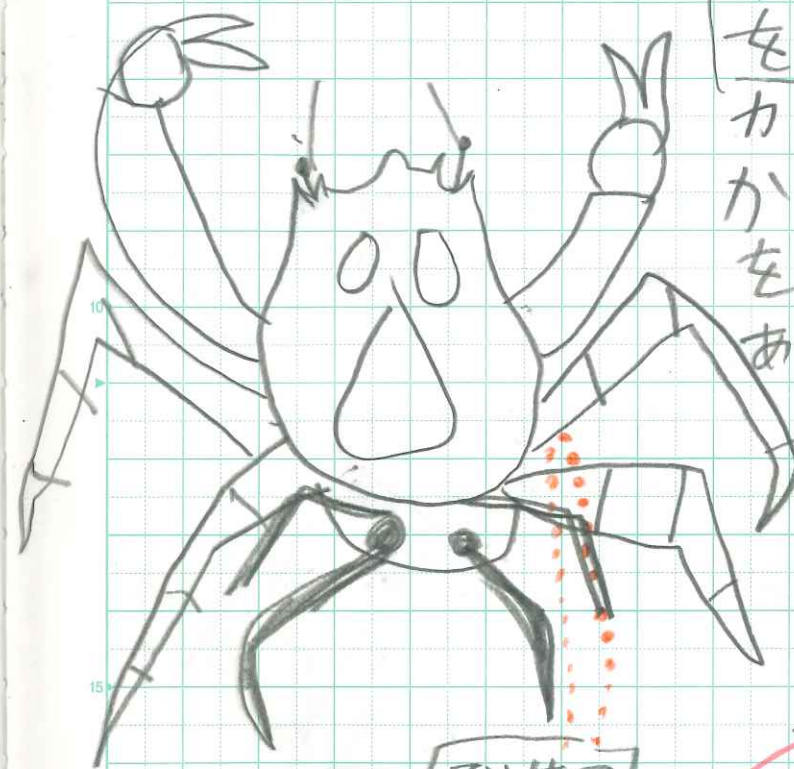
■ 前へ歩くカニ

アサヒガニやコブシガニるい、カラッパるいは、矢じるしのかんせつを大きく前後に動かすことができます。ヘイケガニるいは、ていせつを回してあし全体を前後方向

に動かして、前へあるきます。

★ クモガニのなかまは、あしが長く、かんせつをかなり自由に回せるため、どの方向にも歩くことができます。

ヘイケガニるい



あしのないカニをしらべよう。

カニはてきにつかまると、あしを体といいま

あしのつけねのぶがんは、されてもいいよ

うにできていて、だっぴするにあたらし

いあしが生え

てきます。あしのつけねのようすや、そのこうとうをよくしなべたほうがよい。⑤カニのことがよく

わかりました。もう、この本の中の生ぶつをしらべてみたいとおもいました。